



一日のなんと短き十二月

(一汝)

とうとう12月、カレンダーも最後のページになってしまいました。時の流れの速さに、焦りを覚えたりする時期です。「もうすぐ新しい年がやってくる!」という期待に、胸がワクワクするのはもう少し12月の後半になってから。それまでは、この1年にあったことに思いをめぐらせずにはられません。

子どもたちにとって1年という時間は、大人以上にいろいろなことを経験し、大きな成長を遂げるに十分な時です。体だけでなく心も日に日に豊かになっていく様子に、保護者の皆様も驚きと喜びを感じておられることでしょう。私たちも同じ気持ちです。

「何もしない1日は長く、何かに打ち込んだ1日は短い」と言われるように、子どもたちが充実した学校生活を送り、伸びやかに成長することを願い、魅力ある学校を目指します。

◆12月の学校行事◆



盛りだくさんの学校行事!

11月は1年の中でも最も学校行事の多い月と言えます。毎日のようにどこかの学年で日本人学校ならではの校外学習や校内でのイベントがありました。子どもたちは行事をとても楽しみにしています。いろいろな体験を通して視野を広げ、友情を深めていくようです。



和楽器実習 (中学部3年 琴)



アウトファールト校との昼休み交流風景 (小5・6)



チーズ農場見学 (小3)

いつもありがとう、お弁当

テレビからたまたま流れてきたみんなのうた。ふと聞いていると胸にグッとくるものがありましたので、紹介します。毎日作って手渡される愛情たっぷりのお弁当。学生時代ずっと作ってくれた自分の母親に対する感謝の気持ちと、おそらくこんな気持ちで毎日お母さんたちは子どもに作ってあげているのだろうなあという気持ちになり、心が洗われる思いで聞いていました。私がたまたま聞いたその歌は、今年日本国内で子ども向けの歌番組の4～5月の新曲としてオンエアされたものでした。この「お弁当箱の歌～あなたへのお手紙～」は、子どもの卒業までお弁当を作る想いをお母さんの目線で表現している曲です。

お弁当はこのうた～あなたへのお手紙～

作詞 半崎 美子

おかえり

今日もからっぽのお弁当ばこをありがとう
毎日残さずきれいだね お弁当はこのうた

あなたの好きなものばかり入れられないのよ
許してね

体のことも考えて 作っているのよ

赤・緑・黄色の彩りと

栄養たっぷりバランスと

にんじん ピーマン セロリ

あの手 この手で入れてます

毎朝 渡すお弁当ばこはあなたへのお手紙

おかえり

今日はどうしたの？ 残しているのね お弁当

心や体が 弱いとき シグナルはお弁当

冷蔵庫がさみしいときは

たまにシンプルになるけれど

愛情にしっかりフタをして

もれないように包みました

毎朝 渡すお弁当は 私からのお手紙

いつかあなたが大人になって

恋をしてダイエットなんて言うまでは

何があっても届けます あなたへのお便り

食べてるところは一度も見られないけれど

想像しながら作っています

卒業したら少し寂しくなるけど

たまにはこうしてお便りします

いよいよ今日が最後の日

からっぽのお弁当ばこの中から

「毎日どうもありがとう」

あなたからの手紙

学校に通う子どものお弁当を毎日作るというのは、実際に今まさに実践していらっしゃる日本人学校の保護者のみなさんは十分実感していることと思いますが、本当に大変なことだと思います。

これを毎日繰り返すわけですから。しかし、お弁当を作る期間は、毎日子どもの成長を見守っていけるかけがえのない期間だととらえることもできます。

お弁当を作ることはお手紙を書くことに似ていると言われています。書いている人は、読んでい

ところを見ることはできませんが、相手を想いペンをとるように、お弁当も、食べているところは見れませんが相手を想い、心を込めて作ることは同じです。そして、お弁当ばこを空っぽにして返すことが、お手紙の返事になります。たまに体調が悪かったりして、残してしまうこともあるかもしれませんが、そのやりとりさえも体や心のバロメーターとして、互いを繋ぐお便りです。卒業するまで毎日のように繰り返される親子のやりとりは、愛情にしっかりフタをしてもれないように包んだ、温もりのあるお手紙だと言えると思います。

もし、お弁当を作るのがきつくなってきたら、この歌を聞いてモチベーションをあげてみてください。いつも愛情たっぷりのお弁当を持たせて保護者のみなさんが子どもたちを学校へ送り出してくださっていることをしっかり受け止めて、子どもたちが楽しく学校生活を送っていけるよう、これからも職員一同、努力していきたいと思います。

(尾後貫 智)

- ①メニューを考える
(栄養と彩りも考える)
- ②食材を用意する
- ③朝早起きをする。
- ④お弁当を作る。(子どもに朝の支度をさせながら)
- ⑤子どもに持たせる
- ⑥お弁当箱を開ける
(ちゃんと食べたかな)

